

セイタカシギ（セイタカシギ科） 全長37センチ

風が冷たく、今日から春と言うにはまだ早過ぎる4月1日であったが、大浦沼で珍鳥セイタカシギが見つかった。体の大きさはハトぐらいだが、脚がとても長い。赤い脚は、八頭身か十頭身美人かと思われるスタイルである。

時折り強風が吹き付ける中、沼岸に横たわる枯れたヨシの上に佇み、ほとんど動きがありません。警戒されない様、車を移動せずにじっと待つことにした。



長い脚は赤く、針金のように細い。

すると水中にクチバシを刺し込み、小さなものを食べている様子が見られた。昆虫の幼虫か小魚のようなものだった。

そのあと何かに驚くわけでもなく、対岸まで飛び立った。枯れたヨシの上を縦横に移動しながら餌を探している。やはり、私を警戒していたのだろう。逃走距離が分かったので、撮影の参考になった。



何かを水中からつまみあげた。



対岸に飛び立った。

それから2日後、大浦沼で2羽が見つかった。

1日のセイタカシギは、後からやってくる相方を待っていたのだろうか。浮島の上でお互い離れず、餌探しに夢中であった。30分ほどの短い滞在時間で飛び立ち、再び姿を見せることはありませんでした。



手前を横切るコガモにしらんぼり。



長い脚にはメリットもあるそうだ。